

2008年11月27日

報道関係各位

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

『企業の森づくり活動への取組に関する協定』を締結します。**小野市の森林を「ひょうご さわやか自然の森」と名付け、森林保全活動に取り組みます。**

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社（代表取締役CEO：末吉紀雄、以下当社）では、兵庫県、小野市、（社）兵庫県緑化推進協会と「企業の森づくり活動への取組に関する協定」を締結し、小野市の森林を「ひょうご さわやか自然の森」と名付け、水源涵養林の保全活動を推進して参ります。協定の調印式を12月5日（金）に実施いたしますのでお知らせいたします。

近年の地球温暖化の進行などの気候変動により、日本においても治水・利水が不安定なものになっており、水資源管理に対する社会的関心は急激に高まっています。清涼飲料の製造・販売を行う当社では、水はかけがえのない資源であるとともに、水を使用する企業として水資源保全に取り組むことは社会的責任であると考え、水源涵養林の保全活動を積極的に実施しています。これまでに各自治体との連携のもと、佐賀県鳥栖市、鳥取県伯耆町、京都府宇治田原町、滋賀県愛荘町、広島県三原市の森林を「さわやか自然の森」と名付け、森林の保全活動や、ステークホルダーの皆さま及び社員を対象とした環境体験学習などに取り組んでおります。今回「ひょうご さわやか自然の森」として森林保全活動を行なう小野市の里山林は、当社グループの明石工場（明石市大久保町）の上流域にあたることから、活動場所として選定いたしました。

兵庫県では平成6年度に「ひょうご豊かな森づくり憲章」を提唱し、森林を県民共有の財産としてとらえ、県民総参加の森づくりによる森林の保全を推進されておりますが、環境に配慮した従来の保全から一歩進めて、森林所有者と県民が知恵や労力等を合わせることで、多様な兵庫の地域特性を活かした森の回復、再生への方策を創造することを目指し、公的関与による森林整備、里山林の再生、森林ボランティアの育成などを施策とする「新ひょうごの森づくり」を推進されております。

当社では、今回の協定により兵庫県、小野市、兵庫県緑化推進協会などのご協力のもと、森林保全活動を通じて「新ひょうごの森づくり」に協力して参ります。

協定の締結にあたり、調印式を下記の通り実施いたします。

- 日時 平成20年12月5日（金） 午前10時から
- 場所 兵庫県庁2号館 6階 知事応接室
- 出席者 兵庫県知事 井戸 敏三 様（社団法人兵庫県緑化推進協会 会長）
小野市長 蓬萊 務 様
コカ・コーラウエストホールディングス株式会社 代表取締役CEO 末吉 紀雄

当社では、常に社会の立場で考え行動する「企業市民」を目指し、地域社会への貢献、ならびに環境問題への取組みを積極的に取り組んで参ります。

以 上

■ご参考：「さわやか自然の森」について

当社では水資源保全への取り組みは、我々に求められている社会的責任であると考え、水源涵養林の保全に積極的に取り組んでおります。これまでに佐賀県鳥栖市（平成18年4月、林野庁「法人の森林制度」を活用）、鳥取県伯耆町（平成19年6月、鳥取県および伯耆町と森林保全協定を締結）、京都府宇治田原町（平成19年7月、京都府、宇治田原町、（社）京都モデルフォレスト協会と森林利用保全協定を締結）、滋賀県愛荘町（平成19年10月、滋賀県、愛荘町、向山生産森林組合とびわ湖森林づくりパートナー協定を締結）、広島県三原市（平成20年10月、広島県、三原市と森林保全・管理協定を締結）の森林を「さわやか自然の森」を名付け、水資源保全に取り組んでいます。



森林保全活動の様子

「ひょうご さわやか自然の森」の概要は下記の通りです。

- 活動場所 兵庫県小野市黍田町の里山林 10ha
- 森林所有者 小野市
- 活動の内容
 - ・水源の森整備のための資金の提供
 - ・社員等による伐採整理、遊歩道づくりなど里山林整備
 - ・里山林を活用した環境体験学習 等

なお、「ひょうご さわやか自然の森」の活動地である小野市黍田町は当社グループのコカ・コーラウエストプロダクツ明石工場（明石市大久保町）の上流域にあたります。



高山（小野市黍田町）

